

## 園長だより「一生懸命」 運動会特別号

秋晴れの空の下、運動会（にじ・ほし・そら・ゆめ組）が大きな事故なく無事に終わりました。次の日が雨模様で運動会を延期した小学校が多かったことを考えると、1日違いでギリギリのセーフだったということですね。天気だけは抗えないものなので、ラッキーだったとしか言いようがありません。幼い頃「天の神様の言う通り・・・」などと言いながら遊んだことがあります。どのような神様かはわかりませんが、土曜日は城東ちどり保育園の子ども達の味方をしてくださったということは間違いありません。

さて、保護者の皆さんにとってはどのような運動会になったのでしょうか。運動会はお子さんの成長をしっかりと感じることでできる行事の一つです。今年の運動会の頃のお子さんを、進級した4月の頃のお子さんを、1か月前のお子さんの姿を思い起こしていただくと、お子さんの成長度合いが良くわかると思います。お子さんは日々、成長していきます。お子さんの成長を感じるアンテナの感度をさらに上げていただければ、より成長したお子さんを感じることもできるようになると思います。

ゆめ組の子ども達は保育園生活最後の運動会でした。竹馬に取り組んでくれました。皆さんもご存じのように竹馬は一朝一夕に乘れるようになるものではありません。ゆめ組の子ども達は4月から屋上で練習をスタートしました。土の感覚になれるために諏訪連合町会にお願いして、諏訪会館横のテニスコートでも練習しました。猛練習で足の指の皮をはがしてしまったお子さんもいました。なかなかうまく乗れないお子さんもいましたが、何度も何度もあきらめずに挑戦してくれました。改めて子ども達の一生懸命頑張る姿は尊いと感じさせてもらいました。リレーはそれぞれの思いをリングバトンに託して、最後まで「つなぐ」という気持ちを持って頑張ってくれましたね。走る順番は子ども達が先生のアドバイスももらいながら話し合って決めたそうです。いいですね。「優しく話し、温かく聞くことのできる子ども」に育てていってほしいと思います。ゆめ体操も一人一人が一生懸命、自分の力を出し切ってくれました。「やー！」ゆめ組の子ども達の元気な声が秋の高い空に響き渡りました。

そら組の子ども達は白とピンクのフラッグを持って踊ってくれました。ポーズを決める度にパシッ！パシッ！というフラッグで空気を切る音が聞こえました。もちろんかわいい演技ではありましたが、それだけでなく、かっこよさも感じることができました。最後、パラバルーンにも取り組みました。どうでしたか。みんなの気持ちが一つになった大きなパラバルーンが2つ、フィールドに咲きました。かけっこでは最後まで一生懸命走り切ってくれました。何より素晴らしかったのは、先生の「位置について！」「用意！ドン!!」の合図を守って走ってくれたこと。はやる気持ちをコントロールして、しっかり身体とリンクさせていた証です。フライングする子どもがいなかったことは大きな成長ですね。来年度の運動会でゆめ組になった子ども達はさらに成長した姿を見せてくれると期待しています。

ほし組の子ども達は「Under The Sea」でダンスしてくれました。小さなかawaii魚になってくれましたね。最初のうちは並ぶのも大変だった子ども達がラインにそって上手に並べるようになりました。先生の合図で前列と後列が入れ替わったり、魚になって泳いだ後4つの円に分かれて集まったりもしました。かわいいダンスももちろん良かったけれど、これも大きな成長ですね。

にじ組の子ども達は運動あそび。4月の頃は歩くのも危なっかしい様子でしたが、今日はしっかり巧技台を上がったり、飛び下りたり、鉄棒にぶら下がったり……。みんないいお顔で運動あそびを頑張ってくれました。

開会式で「子ども達の一生懸命を見てあげてください」とお願いいたしました。城東ちどり保育園の子ども達はみんな自分の力をしっかり発揮してくれたように思います。自分の思うようにいかなかったり、たくさんの人前で少し不安になって泣いてしまったりしたお子さんもいました。でも、私は知っています。まだまだ暑い日が続く中、子ども達が運動会に向けてグラウンドや保育室で繰り返し練習してきたこと。そして運動会当日、保護者の皆さんの前で緊張しながらも一人一人が最後まで一生懸命走ったり、運動あそびをしたり、ダンスをしたりしたこと。ここに重要な意味があり、大きな価値を見出すことができると思っています。城東ちどり保育園の子ども達は間違いなく一生懸命でした。

運動会当日は皆さんから子ども達に対する賞賛の拍手をたくさんいただきました。本当にありがとうございました。一生懸命頑張って何かをやり遂げたことに対する賞賛の拍手は子ども達の達成感を大きく増幅させます。そしてその達成感は自己肯定感（ありのままの自分を受入れ、好意的に肯定する気持ち）につながっていきます。自己肯定感が高くなると自尊感情が育まれていきます。自分を大切に考えることができるということは、自分以外の人やものを大切に考えることができるようになるということです。

城東ちどり保育園の子ども達にはこれからも色々な取り組みの中で今回の運動会で味わったような達成感や自己肯定感を何度も何度も体感させてあげたいと考えています。その積み重ねによって、城東ちどり保育園の子ども達に「生きる力」のベースになる自尊感情を育てていくつもりです。

最後になりましたが、運動会に際しまして、保護者の皆さまにはルール・マナーを守ってご観覧頂きましたことに厚くお礼申し上げます。これからも子ども達を第一に考えた子ども達のための運動会を実施していくつもりです。そのためには保護者の皆さまのご理解ご協力が不可欠です。どうかこれからも城東ちどり保育園の保育・教育にご理解をいただき、引き続きのご協力をお願いいたします。